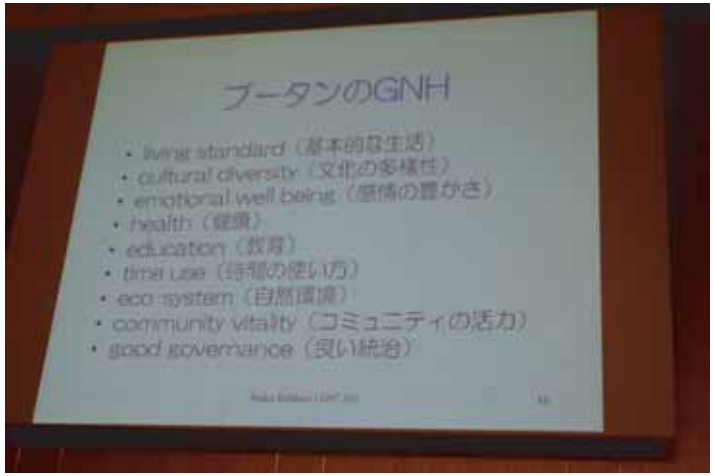
ブータンが求める国民総幸福

ブータンというのはアジアにある途上国でＧＤＰでいうと非常に貧しい国です。この国が一九七〇年台に開発をしようと思ったときに日本を含む先進国をつぶさに分析しました。そのときの彼らの結論は、先進国がやっているようにＧＤＰを伸ばす政策を取ると自然は破壊されるわ、



ブータンのＧＮＨ指標（講演スライドより）

文化は失われるわ、人の心はすさむわでよろしくない。自分たちはＧＤＰを伸ばす政策を取らないと決めたんです。その代わりに自分たちは何を増やすか。これがＧＮＨという、ブータンだけの指標です。Ｇｒｏｓｓ　Ｎａｔｉｏｎａｌ　Ｈａｐｐｉｎｅｓｓ。国民総幸福。国民の幸せの度合いで自分たちの幸せを、国の進度を測ろう。つまりみんなが幸せになっていないんだったらどんなにお金を持っていてもしょうがないじゃない？――そういう考え方です。ブータンのＧＮＨはいま実際にブータン研究所で指標化が進んでいるんですが、例えば、感情的に満たされているかどうか、時間の使い方、コミュニティの活力：ＧＤＰには入っていないこんな要素が入っています。でも、このＧＮＨが伸びればブータンはちゃんと進歩していると自分たちは考えようといっています。

わが社はマイナス成長を目指す！

面白い動きが日本でもあって、ブータンのＧＮＨに刺激を受けて同じようなことを考え始めている人がいます。向山塗料さんという社員二〇人くらいの小さな会社です。ここが、自分たちの会社の進歩を測るのに利益とか売り上げではなくてＧｒｏｓｓ　Ｃｏｍｐａｎｙ　Ｈａｐｐｉｎｅｓｓ。つまり、会社、社員が幸せかどうか、それで測ろうという風に決めたんですね。この会社の社長さんとお話していたとき、「これで考えたら今の自分たちの売り上げは大きすぎる」、という判断になったそうです。売り上げが大きいからそれを維持しようとすると社員も疲れちゃう。それは幸せではない。社員が幸せにできるところまで売り上げを減らそう、つまり会社を小さくしようという風にこの社長さんは考えたんです。実際にいま来年度の売り上げ計画を立てているんですが、九年くらい連続して、マイナス計画です。前年度比マイナス八％の売り上げを目指す。ホントですよ。で、どうなんですか、って社長さんに聞きました。

「そうやって、売り上げ減らして、社員一人ひとりが生き生きと楽しく幸せに仕事できるようにすればするほどお客さんが喜んで増えちゃうんだよ。だからなかなかマイナス成長できない。」

って言っていました。

もうひとつ面白いのは荒川区です。荒川区は区長さんが中心になって、区政を測るときにＧｒｏｓｓ　Ａｒａｋａｗａ　Ｈａｐｐｉｎｅｓｓ――荒川区民の総幸福度で自分たちを測るということをいま考えて実際に指標を作っています。こんな動きが出てきているのは恐らく日本だけで、私は海外でこういう話を紹介すると、みんなびっくりします。でも、多分これがあちこちに広まっていくと思います。今の経済成長至上主義を変えない限り温暖化の問題にしてもなんの問題にしても解決しませんから、それをどうやって形にするかということがみんなわからなかった。でも、日本でもそういう会社が出てきている。これは、世界の人たちに大きな勇気を与えています。

今日コーディネーターをしてくださる岡崎さんも札幌でやっていらっしゃいますが、私は「１００万人のキャンドルナイト」を立ち上げた呼びかけ代表人の一人です。最初に始めたとき、ゆくゆくは百万人くらいやってくれたら嬉しいよね、といって名前をつけました。ところが、ふたを開けてみたら初年度から六百万人参加してくれたんです。今、もう七百万、八百万になっていると思います。広島の尾道では、昔町の中に川が流れていたそうですが全部埋め立てて暗渠にしてしまいました。そのほうが町の発展に便利だから。それでキャンドルでその川の流れを光で再現してみました。川は人々の思いとか暮らしにとってとても大事なものですよね。キャンドルナイトというのは省エネ活動と位置づける人もいますが、私はもっともっと大きな活動だと思っています。

キャンドルナイトも含めていま、日本で広がりつつあるのは、そして私は世界にも広げたいと思っているのは、「取り戻す時代が始まっている」ということです。忙しくて、高度経済成長で、そうじゃないとやっていけないという中で見失ってきてしまった、もしくは、大事だとわかりつつ、それどころじゃないとふたをしてきてしまった本当に大切なものをいま、取り戻す時代に来ていると思うのです。ひとつは時間です。私たちは時間を差し出して、労働に換えて、お金をもらえば幸せになると思って一生懸命働いてきた。でも、ぜんぜん幸せになっていない。ますます忙しくなるだけ。人生は時間からできています。自分の時間を取り戻すということは自分の人生を取り戻すということですね。何より自分自身で考えて自分で決める。そういった自分の頭や心を取り戻す。いま、こういった動きが出てきているんだろうなと思います。

尾道市のキャンドルナイト（2004）